資料②

新人教育用資料

2026 年 4 月改訂

目次

［１］多摩病院の理念・基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

［２］患者の権利と責務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

［３］病院概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

［４］院内見取り図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

［５］薬剤部の組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

［６］薬剤部理念・ビジョン・ミッション・多摩病院薬剤部目標・・・・・・・・・・4

［７］年間スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

［８］薬剤課研修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

［９］調剤・注射補給係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

［１０］臨床薬剤課　研修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

［１１］病院情報システム(Hospital Information System：HIS)・・・・・・・・・・7

［１２］トラブル発生時の対処・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

［１］多摩病院の理念・基本方針

理念

私たちは、市民がいつでも、安心し満足できる、愛ある医療を提供します。

基本方針

・医療スタッフ連携のもとに最適な医療を提供します
・24 時間、365 日、救急・災害時医療を提供します
・地域の医療・保健・福祉と密接に連携します
・市民の健康保持増進と疾病予防に努めます
・良質な医療を行う医療人を育てます
・環境に優しい医療を提供します
・医療資源を大切に効率的な運営をします
・安全で安心な医療を提供できる職場環境を作ります

［２］患者の権利と責務

権利

・　どなたも平等に、適切な医療サービスを受けられます
・　病気と治療について、十分な情報と説明を受けたうえで、治療の方針を、ご自分の意思で決められます
・　医療者の教育や実習・研究的治療への協力を求められても断れます
・　意思に反する医療の提供及び教育・研究への協力を拒否しても、何ら不利益を被ることはありません
・　診療情報が保護されプライバシーは尊重されます
・　診療に関する記録の開示を受けることができます
・　セカンドオピニオンを求めることができます

責務

・　ご自分の体調等の情報を正確に医療者に伝える責務があります
・　治療方針の決定について、ご自分の意思を明らかにする責務があります
・　治療に必要な診療上の指示を守る責務があります
・　病院の快適な療養環境を維持する責務があります

［３］病院概要

川崎市３つ目の市立病院。
聖マリアンナ医科大学が管理運営を行う川崎市北部医療圏の地域医療支援病院。

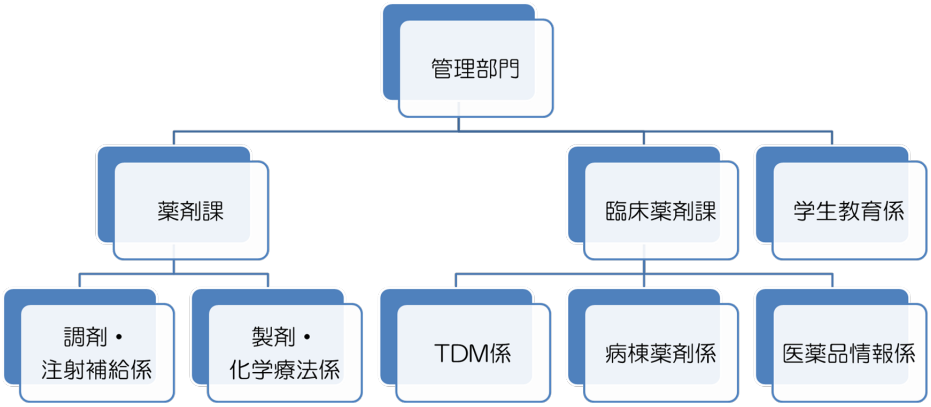
○診療科	
総合診療内科	脳神経外科
循環器内科	整形外科
呼吸器内科	形成外科
消化器内科	皮膚科
腎臓・高血圧内科	泌尿器科
代謝・内分泌内科	産婦人科
脳神経内科	眼科
血液内科	耳鼻咽喉科
リウマチ・膠原病内科	放射線科
腫瘍内科	麻酔科
アレルギー科	歯科口腔外科
神経精神科	リハビリテーション科
小児科	病理診断科
消化器・一般外科	緩和ケア内科
乳腺・内分泌外科	

○医療支援管理部門	○診療施設	○医療技術部門
薬剤部	救急災害医療センター	臨床検査部
栄養部	腎センター	画像診断部
医療情報部	内視鏡センター	手術部
医療相談センター	健康診断部	クリニカルエンジニア部
治験管理室	外来化学療法室	○看護部

［4］院内見取り図　(2026 年 4 月現在)

6F	**6 東** (消化器・一般外科、乳腺外科、眼科、 泌尿器科、形成外科、皮膚科、総合診療内科)	**6 西** (整形外科、眼科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、泌尿器科、総合診療内科)
5F	**5 東** (総合診療内科、代謝内分泌内科)	**5 西** (脳神経外科、脳神経内科、呼吸器内科、眼科、耳鼻科)
4F	**4 東** (脳神経内科、腎臓・高血圧内科、 循環器内科)	**4 西** (総合診療内科、血液内科、消化器・肝臓内科、呼吸器内科)
3F	**3 東小児** (小児科) **3 東緩和ケア病棟**	**3 西** (産婦人科、眼科、泌尿器科歯科) **NCU**
2F	外来化学療法室、手術部、腎センター、リハビリテーション科 病院病理部、臨床検査部、健康診断部、医療情報部、看護部、治験管理室、総務課、医局、図書室、講堂、食堂	
1F	**ICU**、救急災害医療センター 外来(東・西)、画像診断部、医療相談センター、医事課	
B1F	**薬剤部**、内視鏡センター、CE 部、栄養部、物流、医療安全管理室	

［５］薬剤部の組織図



［6］薬剤部理念・ビジョン・ミッション・多摩病院薬剤部目標

聖マリアンナ医科大学及び関連施設の薬剤師は、すべての行動を薬剤部理念に基づくものとし、理念の具体化に向け一丸となり邁進します。

薬剤部理念

患者のQOLを改善するという明確な成果を引き出す目的のために、責任ある薬物治療を提供します（ファーマシューティカルケア）。

ビジョン：私たちの目指す姿

世界標準のファーマシューティカルケアを実践します。

ミッション：私たちの使命

1．根拠に基づいた、適正で合理的な薬物治療を提供します。
2．副作用の収集・解析・究明につとめ、医療の発展に寄与し、より安全な医療を提供します。
3．患者の医療費負担の軽減と国民皆保険制度の後世にわたる継続を目指して、ジェネリック医薬品の使用を促進し、フォーミュラリーの作成を推進します。

多摩病院薬剤部目標

適正で合理的な薬物治療を実践し、安全な医療を提供する。

報告・連絡・相談を適切に行い、常に薬剤部全体を考慮し行動すること
部署間の障壁をなくし相互に協力すること

［7］年間スケジュール

	業務	新人研修(例)	目標
4 月	調剤・注射補給係研修	ファーマシューティカルケア	薬剤部員の顔,名前を覚える 採用薬を把握する 新人業務を理解する 電話・窓口対応ができる 日直業務を把握する 新人チェックリストの振り返り
5 月	製剤係研修開始 手術室業務開始	処方鑑査、注射鑑査 新人研修オリエンテーション 患者コミュニケーションスキル TDM オリエンテーション	
6 月	DI 研修 抗がん剤準備研修開始	TDM 計算演習 小児の薬物治療 EBM 入門① 調剤鑑査時のリスクについて 腎機能評価の方法	
7 月	当直補助研修開始 抗がん剤調製研修開始	輸液・栄養関連 糖尿病	1 人で鑑査ができる 当直補助ができるようになる
8 月	当直補助開始 当直見習い開始	虚血性心疾患	
9 月	当直開始	喘息 EBM 入門②	当直ができるようになる
10 月	臨床薬剤課研修 日直開始	腎機能障害	臨床的問題を解決する手段を得る
11 月		TDM(抗てんかん薬) TDM(VCM)	
12 月		がん性疼痛	年末・年始の業務の把握
1 月		がん化学療法	
2 月		感染症(基礎編・応用編)	棚卸業務の把握 1 年間を振り返り、2 年目に向けて目標を立てる
3 月			

＊新人研修スケジュールは別紙参照

［8］薬剤課研修スケジュール　(１人立ちの目安)

調剤・注射補給係

		調剤	注射	その他
4 月	前半	内規・マニュアル 検査説明窓口 配置薬	マニュアル ボトル集め	棚札の記載 請求伝票 カートばらし
	後半	錠剤・外用剤 散剤 水剤	部門の払い出し 事後処方 定時注射のセット	システム(富士通, ユヤマ) 抗菌薬使用申請書 電話対応
5 月	前半	DTA、一包化		抗がん剤画面確認・払い出し 窓口対応 発注(出庫処理)
	後半	麻薬の調剤、返品 小児薬用量チェック 画面修正	麻薬の払い出し、返品 カート鑑査(定時) 注射監査(緊急・臨時)	
6 月	前半	鑑査	予定注射、注射出力	
	後半			手術室業務
7 月	前半			昼の遅番
	後半			当直補助
8 月				当直

製剤・化学療法係

<院内製剤の調製業務について>

- 院内製剤の調製及び使用に関する指針(日本病院薬剤師会)
- 院内製剤申請書、申請の方法
- 製剤録
- 予製している院内製剤
- 院内製剤の調製、払い出し手順

<抗がん剤・高カロリー輸液、PCA ポンプの調製業務について>

- 抗がん剤、無菌(TPN)オーダ
- 高カロリー輸液の調製
- 抗がん剤のレジメン登録制度、当院採用レジメン、抗がん剤の調製、払い出し手順
- PCA ポンプ

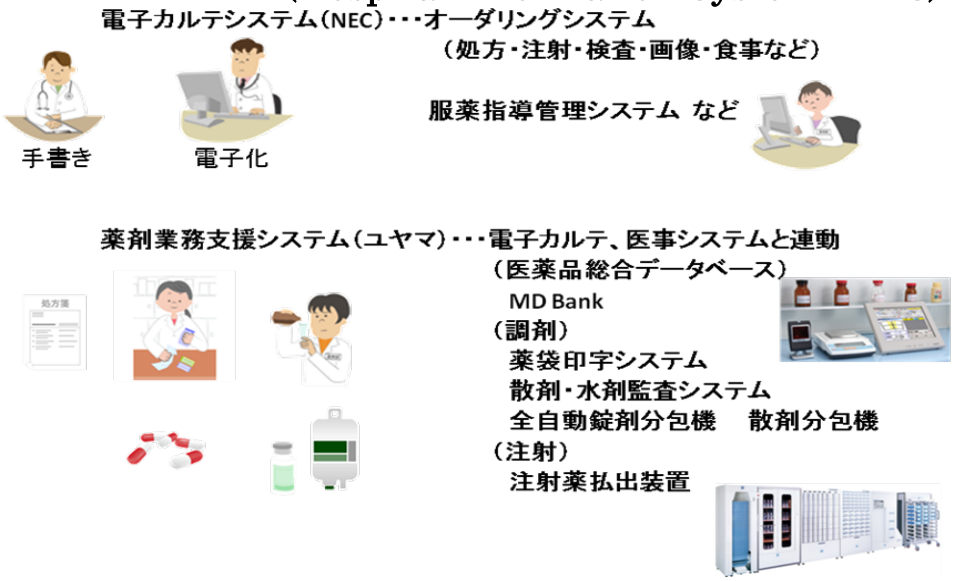
［9］調剤・注射補給係

調剤業務マニュアル参照

［１０］臨床薬剤課　研修スケジュール ＊予定表は別途配布予定

※病棟研修期間中は、12：30～12：45　薬剤管理指導係ミーティングに参加

［１１］病院情報システム(Hospital Information System：HIS)



◎電子カルテシステム(富士通)からの情報を、薬剤業務支援システム(ユヤマ)で受ける
　処方、注射のオーダ入力(富士通)
　　⇒オーダの発行(富士通 → ユヤマ)
　　⇒処方箋、注射箋の印刷(基本ユヤマ；システム障害時には富士通からの印刷も可能)

◎マスタの違い
　＊富士通マスタ
名称、単位、粉砕区分、最大投与量、院内・院外や限定(患者、医師、科)などオーダする際に必要となる情報の設定
　＊ユヤママスタ
処方箋、注射箋や薬袋、薬包、水剤ラベル、薬情などに印字する際に必要となる情報や自動錠剤分包機、散剤分包機、注射薬払出装置など機械を動かすのに必要な情報の設定
　＊インフォコムマスタ
　　・DICS[医薬品情報検索システム]
薬用量、相互作用・患者状態禁忌など医薬品情報に関する設定
　　・PICS[薬剤管理指導支援システム]
帳票類の内容・レイアウト、テンプレートなど薬剤管理指導に関するツールの設定
※マスタの設定は、それぞれ担当者が決まっている。マスタの設定は重要であり、原則は一人では行わず、必ずダブルチェックを行い、設定後は検証を行う。

［１２］トラブル発生時の対処

◆まずは、報告・連絡・相談する。

医薬品安全管理責任者、麻薬管理者、セーフティマネージャー
：それぞれの担当者に報告・連絡・相談する。

◆何が問題なのか、どうすれば解決するのか考える。

・システムの問題か？
　電子カルテシステム（富士通）の問題か？
　薬剤業務支援システム（ユヤマ）の問題か？
　薬剤管理指導システム（インフォコム）の問題か？
・人的問題か？　物理的問題か？　など

◆6W2H

業務を行う上で、人と人との間の意思と情報が確実に伝達し合うことが大切。
問い合わせを受けたり、行ったりする際の基本事項。

時期	場所	人	物	理由	方法
いつ（When）	どこで（Where）	誰が（Who）	何を（What）	なぜ（Why）	どうやって（How）
		誰に対し（to Whom）	どれだけ（How much）		
		誰と共に（with Whom）			